

### 1. 授業科目と単位：

教材評価論 (○)講義 ( )演習 ( )実習 2 単位

### 2. 履修対象者：

(○)D1, (○) D2, (○)D3, (○)D4, ( )D5: (○)文化科学研究科, (○)総研大の全研究科, その他  
(総研大以外からの聴講参加も歓迎する)

### 3. 授業担当教員：芝崎順司

#### 担当教員との連絡 (e-mail、電話、FAX、研究室)：

質問は e-mail か e-mail で調整した時間の面談を歓迎する。(shiba@nime.ac.jp、電話  
043-298-3412、FAX 043-298-3487、メディア教育開発センター 研究棟 706 号室)

### 4. 授業実施期日時間：

授業は毎週定期的を実施するのではなく、月に一度、受講生諸君と日程調整をした上で(原則金曜日)、隔週通年で行い、90 分 x15 回分の時間に相当させる。

### 5. 授業実施場所：

メディア教育開発センター研究棟 8 階、学生室セミナールーム

### 6. 履修条件、受講方法：

授業中に指定する課題を次の授業時に提出すること。出席重視。

### 7. 授業内容の概要：

デジタル教育コンテンツの評価は、どの過程や状況で誰が行うかによって、その意味や役割が異なる。本授業では、それらを整理したうえで、デジタル教育コンテンツの評価の背景となる理論について学習する。また、評価支援システムを利用し、デジタル教育コンテンツの評価の実践を行う。

### 8. 授業の達成目標：

1. デジタル教育コンテンツの評価の意味や役割を理解できる。
2. デジタル教育コンテンツの評価の背景となる理論を習得する。
3. 評価支援システム等を利用して、デジタル教育コンテンツの評価を実施できる。

### 9. 授業計画：

第 1 回 ガイダンス

第 2 回 デジタル教育コンテンツの種類

第 3 回 デジタル教育コンテンツの開発の方法と理論(1)

第 4 回 デジタル教育コンテンツの開発の方法と理論(2)

第 5 回 デジタル教育コンテンツの評価の意味と役割(1)

第 6 回 デジタル教育コンテンツの評価の意味と役割(2)

第 7 回 デジタル教育コンテンツの評価の理論(1)

第 8 回 デジタル教育コンテンツの評価の理論(2)

- 第 9 回 評価支援システムの利用(1)
- 第 10 回 評価支援システムの利用 (2)
- 第 11 回 評価支援システムの利用 (3)
- 第 12 回 デジタル教育コンテンツの開発演習(1)
- 第 13 回 デジタル教育コンテンツの開発演習(2)
- 第 14 回 デジタル教育コンテンツの評価演習
- 第 15 回 まとめ

**10. 使用参考書、参考文献：**

授業中に指定する。

**11. 単位取得要件と成績評価基準：**

講義内容に関する毎回のレポートおよび最終レポートの内容によって評価を行う。

**12. その他のコメント**

特になし。